

9月23日は 交通安全市民大会



— 9月21日～30日・秋の全国交通安全運動 —

秋の全国交通安全運動期間中の九月二十三日、「交通安全市民大会」が長木川市民ひろば野外ステージ付近で開かれます。この日は、こども自転車競技大会や綱引き大会、ダミーを使った衝突実験などが行われるほか、ミニSL乗車コーナーや農産物展示即売コーナーなども設けられますので、家族そろってご参加ください。

交通安全誓いの火

市内をリレー

今年も「交通安全誓いの火」が、下川沿、花矢、長木、十二所の四方面から交通安全市民大会の会場へ向ってリレーされます。下川沿方面は田代町役場付近から、花矢方面は白沢の中渡橋から十二時四十分スタート。長木方面は大館製作所前を十二時二十五分に、十二所方面は十二所上町の松下商店前を十二時三十分スタートし、長木川市民ひろばへ十四時に到着する予定です。誓火ランナーへのご声援をお願いします。

盛りだくさんの

イベント

- ▽8時30分
 - ・交通安全ゲートボール大会
- ▽9時
 - ・交通安全こども自転車競技大会
 - ・交通安全かかしコンクール
 - ・交通安全看板コンクール
- ▽10時
 - ・交通安全綱引き大会
- ▽13時30分

- ・大館一中ブラスバンド演奏
- ▽14時
 - ・交通安全誓いの火を誓火台に点火
- ・交通安全市民大会式典（チッコ警官による交通安全誓いの言葉ほか）
- ▽14時55分
 - ・ダミー（人形）を使った交通事故の実験
- ▽15時15分
 - ・交通安全市民パレード（県警吹奏楽団を先頭に、栄町から新町までパレードします。クラシックカーや子供みこしも参加します）
- ▽10時～15時
 - 〈楽しいコーナーもあります〉
 - ・ミニSL乗車コーナー
 - ・クラシックカー展示コーナー
 - ・農産物等展示即売コーナー
 - ・昼食（うどん、焼鳥、おでん等）コーナー

※雨天の場合は、内容を一部変更し、中央公民館で行います。問い合わせ

市民生活課内「市交通安全対策協議会」事務局
☎49-3111（内線247）

お年寄りの交通事故死が急増

警察庁によると、今年の全国の交通事故による死者は、六月二十八日現在で五千二十四人となり、昨年より十三日も早く五千人を超えました。ちなみに昨年は、年間の死者数が十三年ぶりに一万人を突破したのですが、今年は昨年よりも速いペースなので注意が必要です。

目立って多い 自転車での事故

ところで、最近の事故の特徴は、お年寄りの交通事故死が急増していること



特に目立つのは、自転車に乗っていて交通事故に遭うケースで、死亡した人のうち約半数（二百三人）が六十五歳以上のお年寄りでした。これは、今年一月から五月末までの統計ですが、これを昨年と同じ時期と比べると、なんと五〇%も増えているのです。また、二輪車乗車中の死亡事故も増えています。

これらの原因としては、今年の始めごろは温暖な日が多く、自転車やオートバイを利用する機会が多かったためと考えられます。

ます。

いつまでも

若いつもりが...

最近のこのような傾向に歯止めをかけるために、お年寄りの皆さんはどのようなことに気をつけなければならないのでしょうか。

気持ちのうえては若いつもりでも、やはり年齢とともに体力や運動能力は、若いときに比べて落ちるものです。反射神経や敏捷性についても同様です。

また、視力や聴力も若いときと同じというわけにはいかないことが多いようです。このへんのところを冷静に考えてみることも、大事なことではないかと思われまます。

交通ルールを

再確認しよう

次に、自分自身が交通ルールを守っているかどうかを考えてみることで、たとえば、道路を渡るときに、近くに横断歩道があるのに手前で横断していないか、また、なまめに横断していないかどうか……と。

ちょっとした注意が、「くるま社会」の危険から身を守るということを肝に銘じておきたいものです。